

介護職員・保険代理店・弁護士など
介護事故に関わるみなさまへ

**オンライン開催
参加自由・無料**

みんなで検討！



介護事故事例検討会のご案内

安全な介護では、毎月事故事例検討会を開催しています。主に特養や老健などの施設の介護事故事例を、みんなで検証したいと思います。介護職員や損害保険代理店や弁護士など、どなたでも参加は自由です(無料)。参加者に発言を求めることはありませんので、「事故カンファレンスの参考に聞いてみたい」という方もお気軽にご参加ください。

■ 事故事例検討会の進め方

事故事例を読み上げて、事例検討の方法をご紹介します。事例検討は下記の5つの視点で施設の対応に問題が無いかどうかを検討します。問題がある場合は、その改善策と一緒に考えてください。5つの検証の中で、一度だけグループ討議を交えて意見交換も行います。事前に事故事例に目を通してからご参加下さい。

次の5つの視点で事故を検証します。

1. 事故の過失の有無→防ぐべき事故だったのか？
2. 事故発生時の対処→マニュアル通り適切な対処ができたか？
3. 事故の原因分析→原因分析をしたか？それは適切だったか？
4. 再発防止策の検討→再発防止策を検討したか？それは適切だったか？
5. 事故後の家族対応→事故状況の説明など家族対応は適切だったか？

■ 開催要領

主催:株式会社安全な介護 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

日時:2023年12月25日(月) 13:30~15:00

参加資格:リスクマネジメントに興味のある人はどなたでも参加できます

申し込み方法:下記のURLからお申込み下さい。締め切り後に参加招待状をお送りします。

<https://bit.ly/3L2I2Jn>

オンライン方式:ZOOMを使用します

締め切り:12月20日

【お問い合わせ先】

株式会社安全な介護 担当:山田

mail : info@anzen-kaigo.com

2023年12月の事故事例

デイの外出行事で行方不明、翌日に発見されたが賠償請求

●利用者の状況

○利用者の状況:女性 68歳 要介護2

■既往歴:高血圧症、糖尿病(軽度)、認知症・重度

■ADL:身体に障害なく起居動作はほぼ自立、認知症が重度で徘徊や異食有

■服薬:アリセプト20mg、ラシックス20mg

●事故発生状況及び発生時の対応状況

■夜間居室で転倒

4月初旬の日曜日、あいにく天気は小雨であったが、デイサービスの外出行事で近くのお寺に向かった。職員3名、利用者5名(5名とも認知症あり、車椅子1名)で参拝するが、参拝者で混雑していた。午後2時に全員確認後お参り。2時35分に自分で傘をさしていた利用者一人を見失う。職員2名で境内全域を探したが見つからず、施設に連絡を入れ応援を呼び、寺を徹底的に搜索。5時10分に娘さんに連絡し警察への搜索願い提出、6時20分にご主人にも連絡し、ご主人の家族や知人も搜索に協力。深夜1時まで搜索するも発見できず。

翌日も早朝から市内を中心に搜索。施設で写真入のチラシを作成し配布し、午後11時半まで法人職員総勢20名10組で搜索するも発見できず。

翌々日、午前9時に隣の市の市役所の駐車場にて職員が発見、国立病院に救急搬送との連絡が入る。本人の状態は足底部傷、顎1.5センチの切り傷、レントゲン検査では異常なくその日のうちに帰宅する。

●事故後の家族への対応

発見の翌々日に施設長と課長が果物と5万円のお見舞金を持参し、利用者宅を訪問し、治療費などの支払いを申し出たが、ご主人は「そんなことでは気が済まない」と怒りの様子。その後ご主人は「精神的苦痛を被った」として慰謝料100万円を要求してきました。